

瀬戸内国際芸術祭 2025 公式イベント パフォーマンス作品 INUJIMA アートランデブー「生きているということ」開催のお知らせ

大宮エリーの言葉とともに、犬島で過ごす思索の時間



INUJIMA アートランデブー 大宮エリー 《光と内省のフラワーベンチ》でパフォーマンスを行うアオイツキの様子

公益財団法人 福武財団（理事長：福武英明 香川県、直島）は、2025 年 11 月 1 日(土)に瀬戸内国際芸術祭 2025 公式イベントとして、パフォーマンス作品 **INUJIMA アートランデブー「生きているということ」** を上演いたします。

「INUJIMA アートランデブー」は、犬島において、人びとの交流のきっかけとなるような作品やイベントを展開するというコンセプトのもと、2022 年からスタートしたアーティスト 大宮エリーによるプロジェクトです。本イベントは「INUJIMA アートランデブー」のコンセプトを参加者が体験できる機会として作家が構想していたものです。「INUJIMA アートランデブー」の作品や犬島の集落を舞台に、作家が出演を依頼していたポエトリーダンスユニット・アオイツキを迎えた鑑賞者参加型のパフォーマンス作品を上演します。大宮エリーの言葉やアオイツキのパフォーマンスを通して、参加者に「明日を見つめなおす」きっかけを受け取っていただくことを願っています。

なお、大宮エリーさんは 2025 年 4 月 23 日に他界されましたが、本イベントは作家のビジョンを未来に繋ぐ形で開催いたします。

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550（平日：8:45~17:30）

イベント概要

日時：2025 年 11 月 1 日(土) 14:00～18:00 (公演中の自由時間を含みます)

会場：犬島島内各所

原案：大宮エリー

演出・出演：アオイツキ(アオイヤマダと高村月)

アートディレクション：千原徹也 (株式会社れもんらいふ 代表)

ヘアメイク：冨沢ノボル

制作：株式会社れもんらいふ

主催：公益財団法人 福武財団

料金：一般 6,800 円

瀬戸内国際芸術祭 2025 パスポートをお持ちの場合 6,500 円

小中高生 5,500 円

※イベント特製お弁当付です。

※本公演チケットで犬島精錬所美術館・犬島「家プロジェクト」もご覧いただけます。

※未就学児の鑑賞料金は無料ですが、お弁当は付きません。

チケット販売：10 月 1 日(水) 10:00～ ベネッセアートサイト直島 [美術館予約サイト](#)

※カレンダー上の「11/1(土)」を選択すると公演のチケットが表示されます。

定員：50 名 (先着順)

アクセス：イベント参加者は岡山駅⇄宝伝港の送迎バス及び、宝伝港⇄犬島港のチャーター船を無料でご利用いただけます。

行き 岡山駅西口 10:45 発ー宝伝港 11:45 着

宝伝港 12:00 発ー犬島港 12:10 着

帰り 犬島港 18:00 発ー宝伝港 18:10 着

宝伝港 18:20 発ー岡山駅西口 19:20 着

※自家用車等で宝伝港までお越しいただくことも可能です

※公演終了後は豊島・直島方面、小豆島方面への定期船は運行を終了しているため、チャーター船をご利用ください。

お問い合わせ：inujima-info@fukutake-artmuseum.jp (公益財団法人 福武財団)

公演内容

「INUJIMA アートランデブー」の二作品と島内のさまざまな場所を舞台に、アオイツキがパフォーマンスを繰り広げます。大宮エリーによるテキストをもとにアオイツキが構成した脚本により展開される本公演は、言葉と身体の実現が重なり合って、豊かな広がりを生み出します。

パフォーマンスの合間には、イベント特製のお弁当を味わうひとときや、犬島のアート・自然・集落を巡りながら自由に島内を散策できる時間も設けられています。

午後から夕暮れにかけて変化していく犬島の風景に身をゆだねながら、参加者は大宮エリーの言葉やアオイツキのパフォーマンスを通して思索を重ね、自らを振り返る時間を過ごすことができます。

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550 (平日：8:45～17:30)

アートディレクションは生前から大宮エリーが深い信頼を寄せ、本公演に際して直接協力を依頼していた千原徹也(株式会社れもんらいふ 代表)が担当します。

また、演出の一部として、大宮エリーと親交の深かった俳優 宮沢りえによる朗読音声も使用されます。

明日を待っていると、昨日に肩をたたかれた。

昨日はもうここには居ない。

それでも確かに、居る、を感じる。

船に乗って、お弁当を食べて、INUJIMA アートランデブーで待ち合わせ。

出かけましょう、アオイツキと犬島巡り。

聞こえてきたのは今居ぬ声。

(アオイツキ)

関係者コメント



©Akikoisobe

アオイツキ (演出・出演)

大宮エリーさんが犬島へ導いてくれました。

会えなかったけれど、島を巡ると彼女と共に居る様に感じます。

■アオイツキ プロフィール

アオイヤマダと高村月が踊り語る。自身の記憶の断片に凹凸を与え、人生教科書のページをめくるように身体と言葉へと昇華させる。



千原徹也 (株式会社れもんらいふ 代表) (アートディレクション)

大宮エリーさんと最後に会ったのは、死を迎える2週間前。この企画を一緒にやってほしいと少し前から相談されていました。同い年の僕にとって、大宮エリーは、心の友人という存在でした。かならず復活して11月と一緒に迎えようと話していました。犬島を訪れた際、アートの島という印象よりも、ただそこに暮らしがある。素朴で当たり前の情景に感動しました。INUJIMA アートランデブーは、島人と同じようにいつも存在しています。明日も明後日も、平凡な毎日を過ごすということが、大宮エリーのテーマ「生きているということ」を感じざるを得ません。

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】 取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール: press@fukutake-artmuseum.jp 電話: 087-892-2550 (平日: 8:45~17:30)

■千原徹也 プロフィール

広告から映像制作、映画制作など、さまざまなジャンルのデザインを手掛ける。

2024 年に原宿ハラカドへ拠点を移し、オープンな場所でのコミュニティショップなどが融合した新しい形のデザイン会社に取り組んでいる。

取材について

イベント当日は、メディアの撮影取材が可能です。

主催者へのインタビューや公演中の撮影（一部）も調整可能です。ぜひこの機会にご取材をご検討ください。

ご希望の方は、10 月 24 日(金)までに下記問い合わせ先までご連絡ください。

大宮エリーの犬島でのアート活動について



撮影 諸井純二

ベネッセアートサイト直島では、大宮エリーが人と人を繋げ、人に希望を与えるような多角的な創作活動を行っていることをふまえて犬島でプロジェクトを行うことを依頼し、2022 年からプロジェクト「INUJIMA アートランデブー」を始めました。

大宮エリーは生前、「島の人々と来島者が自然に交流できる場所を作りたい」との想いを込めて「INUJIMA アートランデブー」のプロジェクトに取り組み、今回のパフォーマンス作品は、その理念を鑑賞者が体験できる機会として構想していました。

■大宮エリー プロフィール

1975 年大阪生まれ。2025 年没。作家業、舞台の作演出、ドラマ・映画監督、映像制作、ラジオのパーソナリティと様々なジャンルで活動。2012 年より絵画制作を始め、2016 年には美術館での初の個展「シンシアリー・ユアーズ親愛なるあなたの宮エリーより」（十和田市現代美術館、青森）を開催し、街の商店街にも作品を展開。2019 年には海外ギャラリーでの初個展「A Wonderful Forest」（TICOLAT TAMURA、香港）を開催すると同時にアートバーゼルに参加し、ミラノ、パリでも個展を開催。2022 年、Galerie Boulakia（ロンドン）にて個展。2020 年より教育にも力を入れ、クリエイティブ力を鍛える学校「エリー学園」、ことばとアートの学校「こどもエリー学園」をオンラインで開講。

INUJIMA アートランデブー

「INUJIMA アートランデブー」は犬島において、人びとの交流のきっかけとなるような作品やイベントを展開する 2022 年より始まったプロジェクトです。アーティスト 大宮エリーの作品が少しずつ島内に点在していき、来島者が島内に点在する大宮エリーの作品を目印にランデブー＝待ち合わせをし、ときに休憩しながら、島を散策することを目指します。

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550（平日：8:45~17:30）

■フラワーフェアリーダンサーズ（2022年 春公開）



INUJIMA アートランデブー 大宮エリー 「フラワーフェアリーダンサーズ」2022年 写真：大宮エリー

犬島島内に咲く草花をモチーフに、それらが妖精になって踊っている場面を立体作品として表現しました。展示場所は、島の盆踊りが行われる「ちびっこ広場」で島の方々にとって親しみ深い場所が選ばれました。

本作は、腰を掛けたり、自由に触れあえたりするインタラクティブな設計により島の方や来島者の自然な交流のきっかけになることを目指します。

■関連イベント：フラワーフェアリー生誕祭



「フラワーフェアリー生誕祭」大宮氏と参加者の様子

2022年5月28日及び6月5日に「フラワーフェアリーダンサーズ」をテーマにした子ども向けのワークショップを実施しました。

大宮エリーと作品を鑑賞した後、島の植物を観察し、「自分が考えるフラワーフェアリーダンサーズ」をテーマに絵を描きました。描いた絵は大宮エリーが制作したオリジナルの額縁に額装されプレゼントされました。

島の方々はイベントの様子を参観され、近隣の子どもたちと島の方々の交流の機会となりました。

■光と内省のフラワーベンチ（2022年 秋公開）



INUJIMA アートランデブー 大宮エリー 「光と内省のフラワーベンチ」2022年 写真：大宮エリー

犬島の四季や草花、人々の循環をイメージして描かれた絵柄は、ベンチの背面に光が差すことで、ステンドグラスのように地面へ移りこみます。

穏やかな瀬戸内海が臨める犬島の南西側の海岸沿いに設置されました。

本作を通して、海を見ながら佇み、様々なことを考え、反芻するきっかけになることを願います。

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550（平日：8:45~17:30）

■INUJIMA アートランデブー 作品概要

住所 : 岡山県岡山市東区犬島島内

電話番号 : 086-947-1112 (犬島精錬所美術館)

開館時間 : 10:00 ~ 16:30

※屋外展示作品ですが、安全にご鑑賞いただくため時間外のご鑑賞はご遠慮いただいております。

休館日 : 火曜日 - 木曜日 (3月1日 ~ 11月30日)

※ただし祝日の場合は開館/全日 (12月1日 ~ 2月末日) ※不定休あり。[ベネッセアートサイト直島ウェブサイト開館カレンダー](#)にて随時更新。

鑑賞料金 : 無料

駐車場 : なし

Web サイト : <https://benesse-artsite.jp/art/art-rendezvous.html>

■ベネッセアートサイト直島とは

「ベネッセアートサイト直島」は、直島・豊島（香川県）、犬島（岡山県）を舞台に株式会社ベネッセホールディングスと公益財団法人 福武財団が展開しているアート活動の総称です。

瀬戸内海の風景の中、ひとつの場所に、時間をかけてアートをつくりあげていくこと——各島の自然や、地域固有の文化の中に、現代アートや建築を置くことによって、どこにもない特別な場所を生み出していくことが「ベネッセアートサイト直島」の基本方針です。各島でのアート作品との出会い、日本の原風景ともいえる瀬戸内の風景や地域の人々と触れ合いを通して、訪れてくださる方がベネッセホールディングスの企業理念である「ベネッセーよく生きる」とは何かについて考えてくださることを目指しています。

そして、活動を継続することによって地域の環境・文化・経済すべての面において社会貢献できるよう、現代アートとそれを包括する場である地域がともに成長し続ける関係を築いていきたいと考えています。

■ベネッセアートサイト直島の歴史について

参照 URL : <https://benesse-artsite.jp/about/history.html>

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】 取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 コミュニケーションプランニング部 広報・プロモーションセクション

メール : press@fukutake-artmuseum.jp 電話 : 087-892-2550 (平日 : 8:45~17:30)